

PL.55 延岡城内遺跡（第9次）出土遺物（俯瞰）



PL.56 延岡城内遺跡（第9次）出土遺物（立面）

9. 鬼黒遺跡

所在地 延岡市天下町 1423, 1422-乙外
調査原因 堆肥舎建設
調査期間 20020828 ~ 20020905

調査面積 25.6 m²
担当者 尾方
処置 破壊

(1) 位置と環境

当遺跡は市の西部に位置する標高約30mの台地上にあたり、現在は牛舎が建てられ、その飼料置き場として活用されている。調査地の南には五ヶ瀬川が流れ、直近には国史跡南方古墳群第16号が所在している。その他周辺の遺跡として中世期に延岡地方を支配した土持氏を祀った卒塔婆や五輪塔群が所在している。

今回の調査地である天下・吉野地区は、九州保健福祉大学の建設や工業団地造成、高速道路線下にあたり、開発の波が一気に押し寄せている地区である。これまでこれらの工事に伴う調査から、中世～旧石器時代にかけての遺跡が数多く確認されている。

今回の調査地は、16号墳に隣接していることから、古墳に関連する遺跡の存在が予想されるとともに、これまでと同様に多期にわたる遺跡の存在が考えられた。

(2) 調査の概要

調査はトレンチ法を採用し、土層観察と遺構検出に主眼をおき人力により掘り下げていった。しかし、約30cmの表土除去後、非常に硬く締まった硬化面にあつた。そのため重機により硬化面を除去し、その後再び手作業により掘り下げていった。

調査地の基本層序は①層表土、②層攢乱(硬化面)、③層黄褐色土(A.T.)、④層黒褐色土(白斑ローム)、⑤層明茶褐色粘質土(地山)である。

硬化面除去後は旧石器時代の層にあたり精査を実施したが、遺構・遺物の検出はできなかった。期待された、古墳に伴う遺構も同様に検出されなかつた。

付近の調査により確認されていた土層の堆積が認められないことからすでに切り土が行われ消失したものと判断された。

(3) 検出遺構

なし。

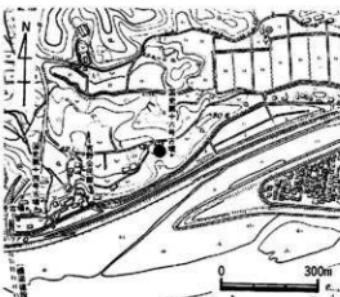


Fig. 59 鬼黒遺跡位置図 (1/15,000)

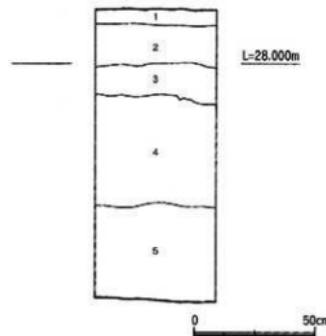


Fig. 60 鬼黒遺跡基本土層図 (1/20)

(4) 出土遺物

なし。

(5) まとめ

今回の調査は、昨年農水省の法改正による「環境に調和した畜産経営推進緊急対策事業」の堆肥舎建設に伴うものであった。この法改正により、今後も同様な施設建設の増加が予想されるため、今後の開発計画に際しては、慎重に対応しなければならない。

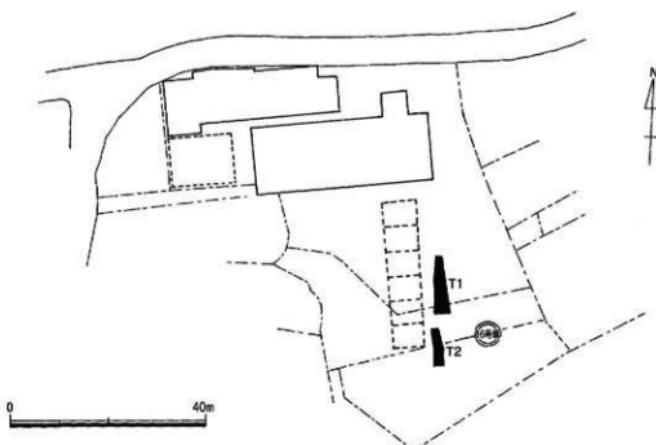


Fig.61 鬼黒遺跡調査区配図 (1/1,000)



Fig.62 南方古墳群第16号墳丘測量図 (1/100)



PL.57 南方古墳群第16号墳近景

10. 別府町権次郎地点(第2次)

所在地 延岡市別府町 3026番地外
調査原因 宅地造成
調査期間 2002年9月25日～2002年9月27日

調査面積 44.8 m²
担当者 高浦
処置 調査後破壊

(1) 位置と環境

当遺跡は、延岡市の南部にある標高約251mを頂とする愛宕山東部の沖積地に広がる水田地帯の一角にあたる。ここは以前、水利の便が悪く、多くが畠地や荒地で水田に乏しい地帯であった。亨保9年(1721)、延岡藩主牧野貞道の時、岩熊井堰の工事に着手し、10年後の亨保19年(1734)、井堰と用水路を完成させた。この用水路により当地には水田が広がっていた。当地にある出北觀音堂には、この大事業に尽力した藤江監物を祀っている。近年は、区画整理事業、大規模店舗建設により、宅地化が進んでいる。



Fig.63 別府町権次郎地点(第2次)位置図
(1/15,000)

(2) 調査の概要

予定地は水田耕作が行われていたため、まず埋土をした後調査に入った。調査は水田址の検出を目的とし、重機によるトレンチ調査法で実施した。トレンチは調査地2ヶ所に設定した。その結果、両トレンチともに約2m下から激しい湧水が認められ、調査を実施することが困難な状況となった。そのためトレンチの壁面観察を実施した。観察では現在まで営まれていた水田基盤層以外には認められなかった。



Fig.64 別府町権次郎地点(第2次)調査区配置図
(1/2,500)

(3) 検出遺構

なし。

(4) 出土遺物

なし。

(5) まとめ

今回の調査は、時期的なものもあり調査が困難であった。埋蔵文化財は確認されなかつたものの、近世に水田が営まれていたことは確かであり、今後も周辺開発には注意を要する。



PL.58 別府町権次郎地点(第2次)調査地

11. 高野町熊田地点

所在地	延岡市高野町字熊田	調査面積	17.0 m ²
調査原因	農免農道建設	担当者	山田
調査期間	2002.10.28 ~ 2002.11.08	処置	調査後破壊

(1) 位置と環境

本遺跡は、高野集落の北部に広がる丘陵地の先端部に位置し、北側に面した丘陵尾根及び開折谷にある。対象地から南方に約300㍍下ると高野集落に開けた平野が広がり、五ヶ瀬川支流の行勝川が東流している。川の対岸には弥生時代の高野貝塚が所在し、さらに南方の丘陵上には市内有数の埋蔵文化財包蔵地でもある今井野遺跡群が所在している。

今回の調査は、宮崎県東臼杵農林振興局が主管する県営農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業に伴うもので、平成11年11月から事前協議を進め、用地買取・立木伐採終了後に市教委による試掘調査を実施する方向で調整がなされていた。その後、様々な要因で事業が遅れていたが、この事業着手の連絡を受けたことから、市教委において試掘調査を実施することとなった。

(2) 調査の概要

調査は、対象地が丘陵地及び開折谷になるため、各々にトレントを設定することとした。調査の結果、丘陵尾根に設定した1トレントは、表土下から地山の風化土でもある淡黄白色岩土及び岩盤層が検出され、遺物等は認められなかった。谷筋の2トレントからは、昭和50年代の農業基盤整備に伴う客土及び旧水田層が検出された。さらに約1.2㍍程掘り下げたところ、上面から一様に青灰色粘土及び青灰色砂質土が確認され、上流部からの流木や土石流の痕跡とみられる岩碎が検出されたことから、谷水田跡に該当する遺構・遺物は認められなかつた。

(3) 検出遺構

なし。



Fig.65 高野町熊田地点位置図 (1/15,000)

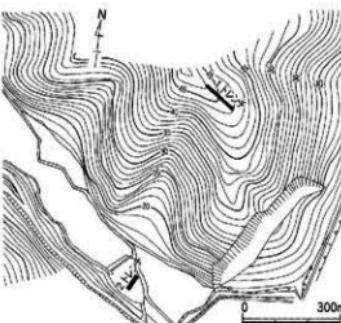


Fig.66 高野町熊田地点調査区配置図



PL.59 高野町熊田地点調査地(1トレント)

(4) 出土遺物

なし。

(5) まとめ

今回の調査では、遺構、遺物等は確認されていないが、今後も同様の開発事業が予想されることから、事業計画の早期把握や調査等の迅速な対応が必要になろう。



PL.61 高野町熊田地点調査地(2トレンチ)



PL.60 高野町熊田地点1トレンチ土層断面



PL.62 高野町熊田地点2トレンチ土層断面

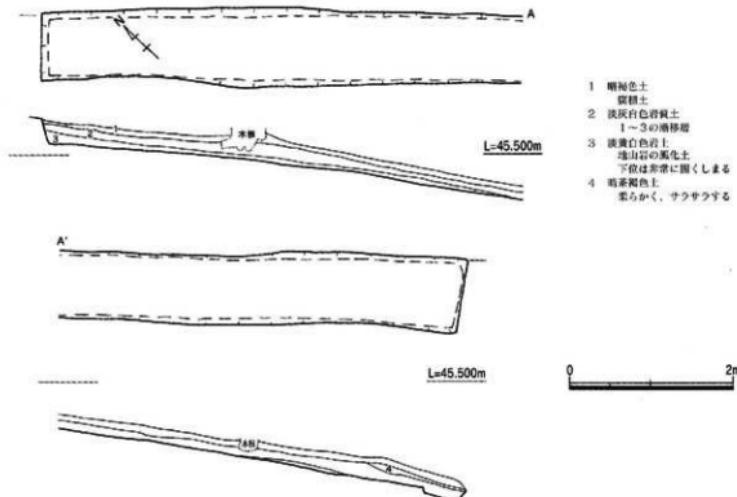


Fig.67 高野町熊田地点1トレンチ土層断面図 (1/60)

報告書抄録

ふりがな	いのの ひかわ むくもよない きたこに	しめい	くつた くつた のべめじょうない おにぐら	こんじろう	くまた かみたら
書名	今井野10次 野中田地点 延岡城内8次 北小路遺跡 下貝遺跡 黒土田3次 黑土田4次 延岡城内6次 鬼黒遺跡 番次原地2次 焼田地1点 上多4良3次				
副書名 半成14年度市内遺跡発掘調査に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書					
卷次					
シリーズ名 延岡市文化財調査報告書					
シリーズ番号 第27集					
著者名 山田 聰、尾方農、高浦 哲					
編集機関 延岡市教育委員会					
所在地 宮崎県延岡市東本小路2-1					
発行年月日 2003年3月31日					

所取遺跡名	所在地	市町村コード	遺跡コード	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
今井野遺跡 (第10次)	延岡市天下町 字今井野	452033	4041	32° 34' 16"	131° 38' 55"	2001/0416 2001/0628	353.0m ²	宅地造成
種別 主な時代 主な遺構 主な遺物 特記事項								
散布地 旧石器・縄文 集石遺構 ナイフ形石器・三段尖頭器 スクレイパー・石鏃・構文土器								
所取遺跡名 所在地 市町村コード 遺跡コード 北緯 東経 調査期間 調査面積 調査原因								
浜町野中川 地点	延岡市浜町 字野中川	452033		32° 33' 14"	131° 40' 47"	2001/0420 2001/0427	51.3m ²	宅地造成
種別 主な時代 主な遺構 主な遺物 特記事項								
散布地 近代 無 無								
所取遺跡名 所在地 市町村コード 遺跡コード 北緯 東経 調査期間 調査面積 調査原因								
延岡城内遺跡 (第8次)	延岡市天神小路 字天神小路	452033	3018	32° 34' 40"	131° 39' 45"	2001/0516 2001/0604	155.0m ²	宅地造成
種別 主な時代 主な遺構 主な遺物 特記事項								
散布地 近世 碑岩建物跡 陶磁器、石塔								
所取遺跡名 所在地 市町村コード 遺跡コード 北緯 東経 調査期間 調査面積 調査原因								
北小路遺跡	延岡市北小路 字北小路	452033		32° 34' 53"	131° 39' 59"	2001/0822 2001/0912	330.0m ²	病院建設
種別 主な時代 主な遺構 主な遺物 特記事項								
散布地 近世 排水遺構 甌生上器、須恵器、陶磁器								
所取遺跡名 所在地 市町村コード 遺跡コード 北緯 東経 調査期間 調査面積 調査原因								
下貝遺跡	延岡市貝の畠町 字下貝	452033	4045	32° 33' 48"	131° 36' 23"	2001/0913 2001/0921	28.3m ²	宅地造成
種別 主な時代 主な遺構 主な遺物 特記事項								
散布地・寺院 縄文～中世 無 無								

所収遺跡名	所在地	市町村コード	遺跡コード	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
黒土田遺跡 (第3次)	延岡市細見町 字黒土田	452033	4029	32° 34' 00"	131° 35' 14"	2001/0913 2001/0927	50.0m ²	道路改良工事
種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項		
散布地	旧石器～古墳	集石遺構		剥片・繩文土器・須恵器				
所収遺跡名	所在地	市町村コード	遺跡コード	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
黒土田遺跡 (第4次)	延岡市細見町 字黒土田	452033	4029	32° 33' 49"	131° 35' 32"	2002/0819 2002/0827	40.0m ²	宅地造成
種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項		
散布地	旧石器～古墳	無		ナイフ形石器・三棱尖頭器・剥片・繩文土器				
所収遺跡名	所在地	市町村コード	遺跡コード	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
延岡城内遺跡 (第9次)	延岡市本小路 字本小路	452033	3018	32° 34' 44"	131° 39' 55"	2002/0819 2002/0905	115.5m ²	保存整備
種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項		
散布地	近世	内堀		陶磁器				
所収遺跡名	所在地	市町村コード	遺跡コード	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
鬼黒遺跡	延岡市天下町 字鬼黒	452033	4054	32° 33' 54"	131° 37' 38"	2002/0828 2002/0905	25.6m ²	堆肥合建設
種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項		
散布地	古墳	無		無				
所収遺跡名	所在地	市町村コード	遺跡コード	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
別府町權次郎地点 (第2次)	延岡市別府町 字權次郎	452033		32° 33' 55"	131° 40' 54"	2002/0925 2002/0927	44.8m ²	宅地造成
種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項		
散布地	近代	無		無				
所収遺跡名	所在地	市町村コード	遺跡コード	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
高野町熊田地点	延岡市高野町 字熊田	452033		32° 34' 51"	131° 36' 42"	2002/1028 2002/1108	17.0m ²	広域農道建設
種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項		
山林	弥生	無		無				
所収遺跡名	所在地	市町村コード	遺跡コード	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
上多々良箱式石棺群 (第3次)	延岡市古川町 字上多々良	452033	3012	32° 35' 00"	131° 39' 30"	2003/0303 2002/0324	32.6m ²	区间整理事業
種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項		
山林	古墳	古墳		弥生上器				

平成 14 年度市内遺跡発掘調査に伴う

埋蔵文化財調査報告書

延岡市文化財調査報告書第 27 集

2003 年 3 月 31 日

発行 延岡市教育委員会

宮崎県延岡市東本小路 2 - 1

印刷 吉田印刷株式会社

宮崎県延岡市川原崎町 441 - 1